

病院長 山城 隆

春の訪れとともに、暖かな日差しが心地よい季節となりました。新年度を迎え、新たな気持ちで日々の診療に取り組んでおります。

歯学部附属病院では、その一環として、今年3月にホームページをリニューアルしました。歯科医療の進歩とともに、それを取り巻く環境も刻々と変化し、お伝えしたい情報も増え続けています。そこで、より分かりやすく情報を発信できるよう工夫を重ねております。ぜひご覧いただき、当院の取り組みを知っていただければ幸いです。

また、患者さんがより快適に医療サービスを受けられるよう、新たに患者支援アプリを導入いたします。これにより、スマートフォンで診察の待ち状況や受診予約の確認、検査結果の閲覧、後払い会計などが可能になります。今後、このアプリを活用し、さらなる情報発信を行う予定です。院内での使い方の案内に加え、新しいホームページにもアプリの操作方法を掲載いたしますので、ぜひご活用ください。

本広報誌の特集では、ホームページのリニューアルや患者支援アプリの導入について詳しく紹介しております。ぜひご一読いただければ幸いです。

新しい季節が、皆さまにとって健やかで実り多いものとなりますようお願いしております。



### トピックス

#### ● 特集

はじめての歯医者さん体験！～小さな一歩を応援～

#### ● 当院からのお知らせ

お口の相談コーナー

お口のマメ知識

◆ 2025年1～3月の統計情報 ◆ 病院概要

## 特集 はじめての歯医者さん体験！～小さな一歩を応援～

障害者歯科治療部 村上 旬平

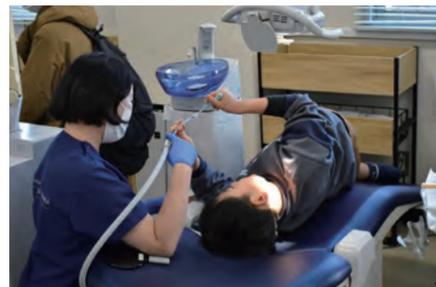
当院の障害者歯科治療部では、心や体に病気や障がいがあるため歯科治療を受けるのが難しい方々に向けて、一般歯科治療を行っています。特に発達障がいのあるお子さまの場合、「口に何かを入れるのが怖い」「音に敏感」「見通しが立たず不安」「何をされるかわからず不安」といった理由で歯科治療が難しくなることがあります。そこで、「歯医者さんは怖い場所」というイメージを少しでも和らげ、将来にわたって口の健康を守るために、『歯医者さん体験プログラム』を実施しました。このプログラムは、NPO法人Viewぷらす フリースペースもなこの協力のもと、歯科受診の経験がないお子さまや、歯科への恐怖心の強いお子さまとご家族を対象に行われました。

プログラムは、2024年12月27日、診療終了後の特別な時間を利用して行われました。まず、診察室を自由に見学することから始まりました。参加した子どもたちは診察室を興味深そうに見て回り、その後、歯科で使用する石膏を使った模型作りや、シリコン製の型どり材料でボール作りを体験しました。歯科治療で実際に使う材料に触れながら、楽しそうに取り組む姿が印象的でした。次に、歯科用チェアに座って昇降を体験したり、鏡を使って自分の歯並びを確認したりする時間を設けました。また、絵カードを見ながら歯みがきを練習したり、口の中を観察するためのミラーや唾液を吸い取る機械（口腔内バキューム）に触れる体験も行いました。中には勇気を出して機械を口に入れるお子さまもいて、少しずつ歯科の環境に慣れていく様子が見られました。このプログラムを通じて、歯科治療への不安を軽減し、「歯医者さんは安心できる場所」と感じてもらえるきっかけになればと願っています。

大阪大学歯学部附属病院では、今後も、地域社会と連携し、誰もが安心して歯科医療を受けられる環境づくりなど、様々な活動に取り組んでまいります。



見通しカードで次の動作を確認中



唾液吸引機に慣れ親しむ様子



自分の歯を確認しながらクリーニングしてもらう様子

## 当院からのお知らせ

### 2025年3月25日、当院のウェブサイトをリニューアルいたしました

#### ここに注目！

- ☑ スマホからも見やすい表示になりました。
- ☑ 目的のページにアクセスしやすくなりました。
- ☑ 「診療科を探す」ページで、自分の症状や困りごとで、受診先の参考となる診療科等を検索できます。

大阪大学歯学部附属病院  
Webサイト  
<https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>  
※旧ウェブサイトからアドレスが変更になっているページがございますので、ご了承ください。



### 院内混雑緩和と医療情報共有のための患者支援アプリを導入します

2025年4月から、患者支援アプリ「wellcne（ウェルコネ）」を導入しました。アプリにクレジットカードを登録すると、精算機に並ばずに帰宅でき、次回の予約もアプリで確認できます。1階に専用案内ブースを設置しておりますので、ぜひご利用ください。

wellcne アプリのインストールはこちらから



### 病院広報誌「歯とお口から」アンケートご協力をお願い

当院では、患者の皆様により親しみやすく、役立つ情報をお届けできるよう、病院広報誌のリニューアルを検討しております。

つきましては、患者の皆様率直なご意見をお伺いし、アンケートを実施することにいたしました。

ご多用中とは存じますが、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、広報誌リニューアル以外の目的で使用することはありません。また、個人が特定できる形で公開することとございませんので、ご安心ください。

#### アンケート回答方法

以下QRコードを読み込み、ご回答ください。  
<https://forms.gle/PdxSxQQXuCtPewwA8>



アンケート回答期限：5月30日(金)

お口の相談コーナー



## 口の粘膜の病気 白板症

はくばんしょう

口の中の粘膜にできる病気にはさまざまなものがありますが、「口の中で、何か月も白っぽい部分があり、痛くもかゆくもないので、そのままにしていたが、最近様子が変わってきた。」というご相談があります。

口の中にできる粘膜が白く変化する病気にも色々ありますが、擦っても取れない白色の粘膜の病変で、白板症（はくばんしょう）というものがあります。白板症は長い経過の中で癌化することがあり、前がん病変とされています。日本では癌化率が3.1～16.3%程度と報告されています。適切な診断によ

り、早期に治療を行うことや、経過観察を受けることで、がん化した場合でも早期の対処が可能となります。

口の粘膜が白く変化する病気には他にも、カビの一種が口の中で増殖するカンジダ症や、免疫やアレルギーが関与するものなどがあります。口の粘膜の病気は見た目だけで診断することが難しいものも多くあり、口の中の細菌の状態、組織の状態を調べたり、血液検査など全身の状態を調べたり、さまざまな検査をもとに診断し、対処します。色々な専門科と連携し対処することもあります。口の中の

口腔外科2（修復系） 松宮 由香

粘膜が白く変化していることに気づいたら、口腔外科にご相談ください。



舌の白板症



お口のマメ知識



## 「おしゃべりが気になったら」

顎口腔機能治療部 言語聴覚士 竹岩 直子 加島 夏子

口の大切な機能の一つに「話す」があります。顎口腔機能治療部では、この「話す」に何らかの困難や不便を感じている方のための＜スピーチ外来＞を設けています。

例えば、「発音がはっきりしない」、「正しく発音できない」、「言葉がつまる」、「呂律が回らない」などの症状に対し、専門の歯科医師と言語聴覚士が診療にあたり、喋りづらさの原因がどこからきているかを探ります。

小児に多いご相談の一つに、小学校入学を控えて赤ちゃん言葉が残っていることを心配され受診されるケースがあります。この場合、まずはお子さまの発達についてなどお聞きし、その後、言語聴覚士が

発音を詳しく評価します。発音も発達に伴い獲得されていくため、幼い喋り方であったとしても年齢相応であったり、そのお子さまの全体の発達と見合えば積極的な訓練が必要でないケースもあります。そのため、問診や評価を通して訓練が必要かどうかを見極めていきます。

実際の言葉の訓練では、お子さまの得手不得手にあわせて、やる気を引き出し楽しく取り組めるよう工夫をおこなっています。練習を頑張った後の「できた！」を共有できる時間は、ご家族はもちろん、私たち言語聴覚士にとっても喜びのひとつです。

普段当たり前にしている「話す」ですが、問題が起きると日々のコ

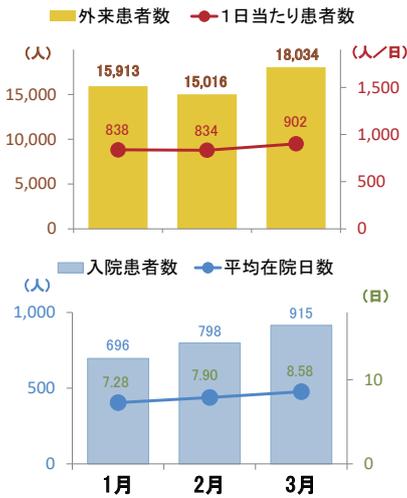
ミュニケーションに支障をきたしてしまいます。当部ではお子さまだけでなく成人の方まで幅広い年齢層の方のご相談を受け付けています。ご自身やご家族のおしゃべりに気になることがありましたら、是非一度、当部までお気軽にご相談ください。



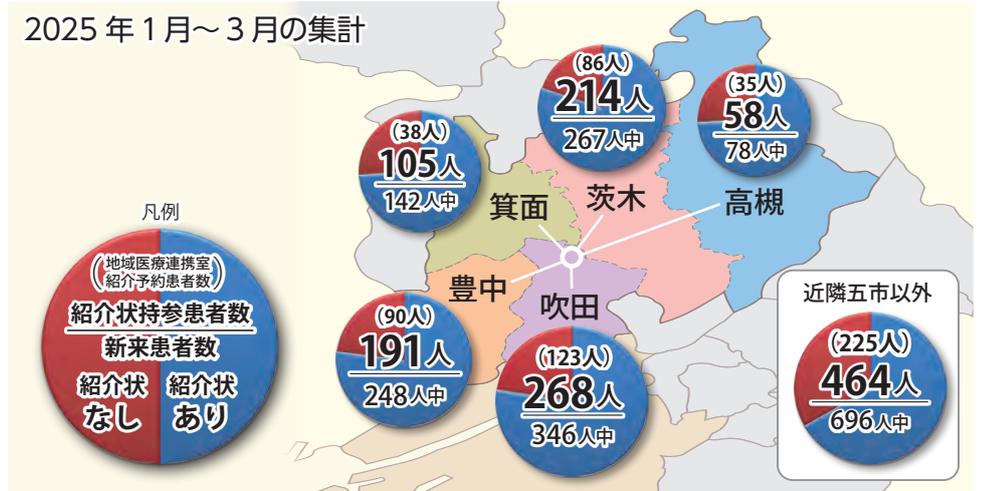
写真：SARUGRAPH 酒谷 薫

# 1月～3月患者数等統計

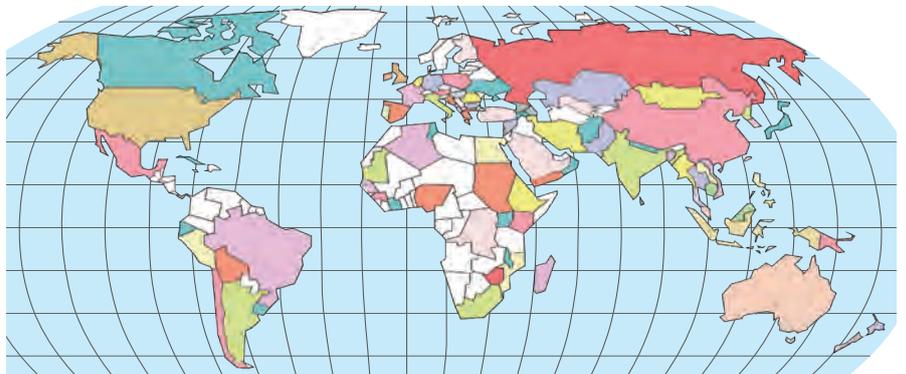
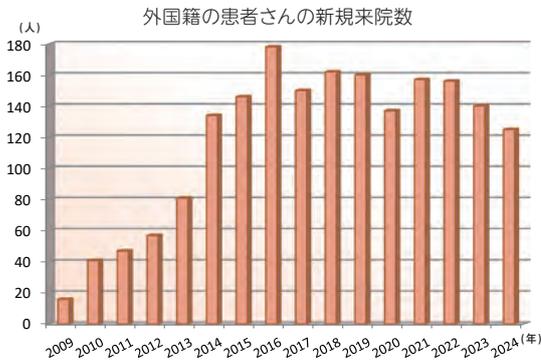
## 外来患者数・入院患者数



## 近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



## 外国籍の患者さんの来院数 (外来) と国籍の分布図



◆抽出条件◆ 2009年度から2025年3月31日までに大阪大学歯学部附属病院を受診した外国籍の外来患者さんの人数を集計しました。

## 病院概要



電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しください。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から制限を設けています。詳しくは病院ホームページをご確認ください。

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分(初めて受診の方、紹介無し可)  
【再診受付】8時30分～15時00分(原則として全科予約制)

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：(代表) 06-6879-5111 (時間外) 06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

対象：予防歯科、う蝕(虫歯)、歯周病、補綴(冠、義歯、インプラント)、歯列不正、口腔がん、口唇口蓋裂、障害者歯科、摂食・嚥下・発音障害、スポーツ歯科、口臭、ドライマウス、睡眠時無呼吸、歯の外傷等

## 病院へのアクセス



歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門(歯学部門)よりお越しください。

## 看護師・歯科衛生士募集中!

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係  
06-6879-2834 まで